



農とみどり通信

2023/12/31

12月号



発行：NPO法人せたがや喜多見農とみどり

雑草について 考える

「雑草という草はない」という名言、連続テレビ小説『らんまん』の放映もあり、今年は、牧野先生の偉大さと、草花雑草への気づきの認知も、すすんだ事でしょう。



農に関わる だから除草

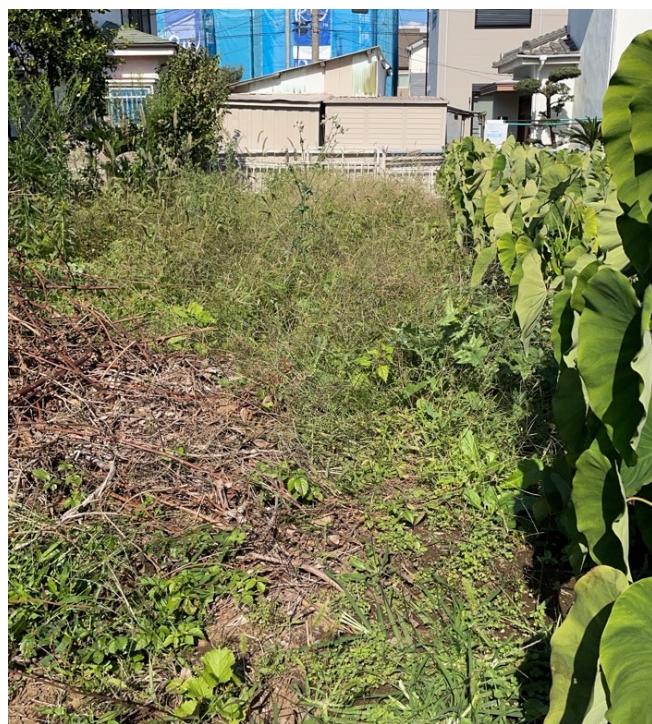
農にかかわる一つまり畠には、どうしても雑草が生えてきます。

雑草に関わる用語を、適当に並べると、

「草取り」、「除草」、
「雑草駆除」、「繁茂」
などが浮かびます。

草取りは農家さんの重要な仕事です。

「草取りばかり」、
「すぐ生えてくる」、
「除草剤」、「防草シート」
も良く耳にします。
多くのヒトから「草取りを
させられた、嫌だった。」
という感想を聞きます。
農にかかわると、雑草に
わることになります。
当たり前だけ不思議とも
思う。



雑草が好き

実はわたしは雑草が好きで、雑草取りの作業も好きなのです。何故かのご説明はむずかしいです、草取りが好きなヒトは案外いるものです。例えば萩野さん（瀬田）のお手伝いは、ずっと「除草」ばかりです。畠の草をみると感心します、すごい生命力です。すごい生命力をまのあたりにして、われわれヒトは、感動したり勇気づけられたり。生き物の生命力とは何か？も考えさせられたりします。逞しいと思います。この逞しいのが本来の生命…生命あるからこそ今の地球です。



雑草は強敵です。
そして除草とはある殺戮です。
残酷です。沢山の草の命を奪います。
除草が終わると、スッキリと畠はきれいになるのですが。
沢山の草の命を奪って畠を維持する
ヒトの業（ごう）を目の当たりにします。
ヒトが選んだ植物である野菜だけを残す、
除草すると野菜は良く育つのです。
ここの中では「やったとぞ」とか「勝ったぞ」とか
「どうだ見てみろ」と雑草に勝利の言葉が
生まれます。
これで我々ヒトは任務を達成して気持ち
よく眠ることができます。
「ああ草畠が整った、今日も良い1日でした。」
と。

雑草取りの戦略

まず、雑草の生え具合を眺めます、どのくらい、どこに何が生えているか、
雑草側もいろんなヤツがいます。カワイイ花も咲くカタバミはかなり強敵です。
ハハコグサは子供ころに遊んでもらった懐かしいヤツ。
とにかくいろんな雑草、見たこともないのも出てきます。
オヒシバとメヒシバがいます。オヒシバは根が張って抜けなくなります、
農家も驚くすごいです。

効率的に除草をすすめるためには、まず除草に集中できる様に全体観を頭にいれます。指が痛くなるかもしれません、鎌とかの用具も考えます。腰が痛くなるかもしれません、身体の姿勢、自分の体調・もてる体力を考えます。なにより敵も実は大量繁殖方式での細かい草の用意もあります、ここが難しい。その日の野菜の状況などを考慮、大きめ雑草の優先策か、綿密除草の戦略かの選択をします。完璧な勝利はできないのです、彼らはタネを残し、根を残し、小さい発芽苗を残し、野菜の陰にも隠れ… 再起を用意しています。我々はその場その日の勝利を手にいれるだけで、戦いはずつとつづくのです。甘い適当な戦闘で済ますと、数日後にはフッキしてきますの危ない。雑草側には、この世の大自然、生命力ともいう、この地球自体の法則がバックにいるのです。例えば、ときどきしか行けない厚木の畠は、つねに雑草側が勝利してしまいます。繁茂する雑草の畠を眺め、生命力、大自然のちからに敬服してしまうのです。すみません、「かないません」という想いにしたるのです。

雑草との対話



草取りをしていると、さまざまことを考えます。これもまた楽しい。

わたし：「すまんが、抜かせてもらうぞ」

雑草：「やめてくれ、せっかくここまで育ってたのです」

わたし：「たしかに見事だ、いろ艶もあって美しい、でも抜くよ」

雑草：「そんな、なんで抜くのですが、この地球は人間さんのものはないです」

わたし：「ごめん、そななんだけど、野菜の栽培しているので」

雑草：「なんたる身勝手、わたした達は抵抗します。これまでずっと除草剤とも戦ってきた。もう大概の除草剤に耐えられる遺伝子を身に付けた、戦いつづける。」

わたし：「草さんはたしかにすごいね、でも手で抜くから、ごめん」

雑草：「わーやめろ、神に訴えてやる。神はわれわれを見捨てない、きっと再起できる。よく考えろ、あなた達とわれわれのどちらが地球に貢献しているかを！」

わたし：「…そうかもしれないね、確かに。でも人間なので、ごめん」

ブチ！

雑草：「…神はわれわれを見捨てない、きっとまた再起できる。」…

雑草：「…地球よ危険な人間に任せるな。わたし達は戦いつづける、ああ私は…命を全うした。」…

援農での雑草取りの技（わざ）競技？

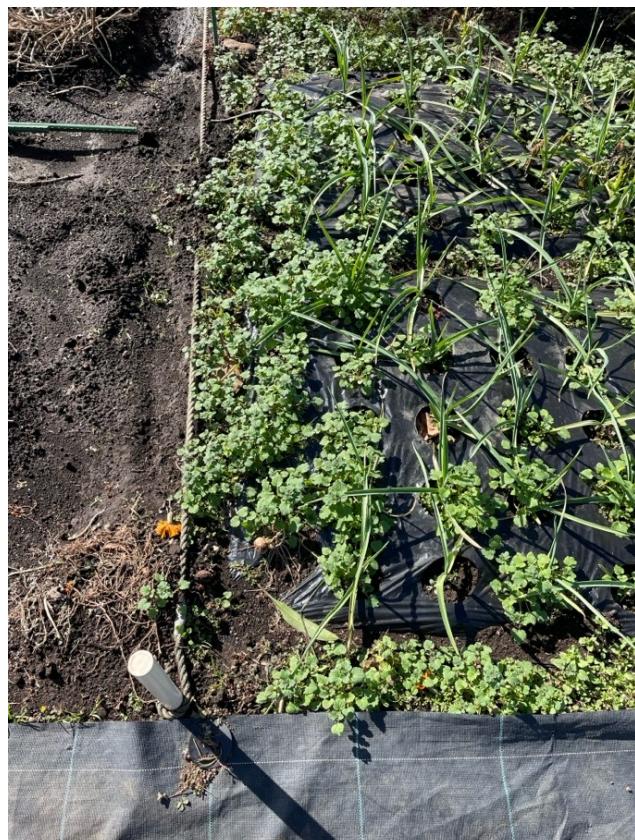
1. 神経を地面に集中させ、雑念を取りはらう。
2. 短時間での対処面積の仕上げを念頭に目標を設定する。
3. 終わったら、しばらくほっとして休む、己の業績を味わう、畠を眺める。

日々の鍛錬として雑草取りに励んでいる私は、楽しく畠で雑草を取ります。この楽しみを多くの方にも、味わっていただきたいと思います。世の雜踏、人間関係のむずかしさ・しがらみを忘れて、はだけに出る楽しみです。

農家さんもきっと雑草取りを楽しんでいます（潜在意識として、言葉にしなくとも）農家さんは相撲とりが身体が覚えているというレベルに達していて、二コ二コと会話しながら無意識ですごいスピードで草取りできる方もいて、神業、すごいの一言です。

雑草と戦いつづけてきたヒトもまた、実にすばらしい。

以上です。



(記：田島文一 2023年12月25日)

てづくり市場との出会い 2

人生の転換：初めて「農」に触れる

こんにちは。先月は、私がてづくり市場と出会い、「陸前高田応援団」として、2020年1月に初出展したところまで書きました。今月はその続きです。

2020年2月頃から、世間はコロナ一色になっていき、てづくり市場も、1月を最後に、しばらく開催がありませんでした。市場に一度だけ出展した私は、てづくり市場を主催している「テヅクリはたけの会」LINEグループに誘われ、メンバーになっていました。そこでは市場のこと以外にも畠に関する活動、例えばゆずジャムの製造販売、収穫物の試食、映画上映会などたくさんの情報が流れていて、畠に関わったことのない私には、まるで異次元の世界を見ているようでした。

私は子どもの出産を機に、できるだけ農薬を使わない野菜を食べたいと思うようになり、宅配で野菜を買う生活をしており、野菜に関心はありました。野菜はあくまで買うものであり、畠に関わることはませんでした。

2020年4月。コロナで陸前高田応援団のイベント出展は全て中止に。子ども達の学校も休みとなり、時間が出来た私は、誘われるままに畠の活動に顔を出すようになります。

私の人生を大きく変えた出来事の一つは、4月に体験した「のらぼう菜摘み」でした。喜多見の住宅街の一角の畠にのらぼう菜がたくさんあり、摘んでいいよと言われました。



初めての農体験「のらぼう菜摘み」

のらぼう菜という野菜を見るのも初めて、もちろん摘むのも初めての私は、恐る恐る手を伸ばし、ぽきぽきとのらぼう菜を折りました。のらぼう菜を手折ると、どこか懐かしいような香りがただよい、生命をいただくという確かな実感がありました。

家に持ち帰り、茹でて食べてみたらおいしいのなんの！摘みたての野菜がこのようにおいしいとは、本当に新鮮な体験でした。

4月の末に初めての農作業を体験。

田島さんと、田島さんのお母様と一緒に畑の雑草取りをしました。この体験が、野菜は買って食べるものと思い込んで生きてきた私の、大きな転換になりました。お母さまと一緒に雑草を抜きながら、この畑で作物ができる様子を見たい、関わりたいという思いが湧きあがってきたことを今でも覚えています。

この土地は、畑の仲間でしばらく使ってよいことになっているところで、使い道を皆さんで考えているところでした。

ここで私は、当時私が働いていた団体の活動「フードパンtries」と、この畑とを結びつけられないか？

と思いつくのですが。。。その話はまた次回書きます。



(記：小堤明子 2023年12月29日)



私たちのこころの砦・慶元寺

喜多見4丁目にある慶元寺は、私たちNPOの大切な活動「てづくり市場」の開催を優しく支えてくださっている浄土宗の寺院です。

創建は文治2年（1186年）といへん古く、本堂は享保元年（1716）に再建されたものです。現存する区内寺院で最古の建造物だと言われています。

東京にあるとは想像もつかない喜多見の美しい農園風景の中にたたずむ慶元寺。ゆったりと気持ちの良い時間が流れています。

p（記・写真：泉博史）



喜多見の12月、幸せなできごと



12月10日 「落ち葉ひろいリレー」



12月17日 「てづくり市場」

2023年12月開催の野菜の仕入

● 永井農園：	8500円		
・ 白菜	300	(05)	
・ ブロッコリー	200	(05)	
・ ポップコーン	200	(20)	戻し可
・ 花（菊）	200	(10)	戻し可
● 小澤農園	3500円		
・ 小松菜	100	(05)	戻し可
・ ゆず	100	(05)	戻し可
・ ミカン	300	(05)	戻し可
・ ポンカン	200	(05)	戻し可
● 服部農園	4000円		
・ 春菊	100	(05)	
・ 里芋	200	(05)	
・ 八つ頭	450	(02)	
・ かぶ	150	(04)	
・ ブロッコリー	200	(15)	
● 田中秀和農園	2100円		
・ シークワーサー	100	(05)	戻し可
・ 一才ゆず	100	(10)	戻し可
・ カリフラワー	300	(02)	戻し可
● 石井農園	6000円		
・ 大蔵大根	200	(05)	
・ 青首大根	100	(04)	
・ 紫大根	100	(07)	
・ 赤首サラダ大根	100	(07)	
・ カリフラワー白	200	(01)	
・ カリフラワーオレンジ	200	(01)	
・ カリフラワー紫	200	(01)	
・ コールラビ	100	(10)	
・ 紫水菜	100	(05)	
・ ピーマン	100	(08)	
● 森農園（新）	2000円		
・ ホウレン草	100	(10)	
・ ラディッシュ	100	(10)	
● 農とみどり（NPO）農園	2400円		
・ 里芋	200	(05)	
・ 京芋	200	(07)	

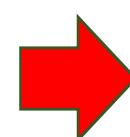
オフィシャルサイトができました！

「農とみどり」のオフィシャルサイトができました。
URLは以下です。

<https://www.nou-midori.org/>

ぜひ、ご覧ください。

スマホからは、右のQRコードからは
簡単にアクセスできます。



The screenshot shows the homepage of the website www.nou-midori.org. The header features the logo '農とみどり' (Nou-Midori) with a small illustration of a strawberry and a leaf. Below the logo is a navigation menu with links to 'ホーム', '初めての方へ', '主なプロジェクト', 'よくあるご質問', 'ブログ', 'イベント', '新聞', and 'お問い合わせ'. A Facebook icon is also present. The main content area has a large title 'せたがや喜多見
農とみどり' and a subtitle '～みんなで行動！街の“はたけ”の継続を願って行動～'. Below the text is a photograph of a woman in a plaid shirt smiling while holding a white tray filled with fresh vegetables, including green beans and red tomatoes, in a greenhouse setting.



農とみどりの活動：1月のイベント予告



今月のお知らせは以上です。

ご不明な点や、ご意見ご希望はなんなりと、このメールアドレスにお願いします。

Copyright © 2023 せたがや喜多見 農とみどり, All rights reserved.

- メールアドレス：tezukuri.hatake@gmail.com
- メールはこちらのQRコードからもOK
- 喜多見4-9-7 世田谷区、東京都 157-0057

